
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第2号（2016. 8. 18）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第2号をお届けします。

今回は、会員の皆様からのリクエストにより、活動組織等からの活動紹介は「鳥獣害対策」と「運営上の工夫」をテーマにお届けします。

また、研究機関の協力を得て、カバープランツなどの最新技術に関する記事を取り上げています。

==== 第2号の目次 =====

- 1. 活動組織等からの活動紹介
 - (1) 蟹沢（かにざわ）・長浜環境保全協議会（福島県）
 - (2) 小束野（こそくの）農地・水協議会（兵庫県）
- 2. 農研機構からの技術紹介
- 3. 農村振興局公式 Facebook 開設のお知らせ
- 4. JARUS よりイベント開催のお知らせ
（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織等からの活動紹介 ■ -----

☆蟹沢（かにざわ）・長浜環境保全協議会（福島県）☆

蟹沢・長浜環境保全協議会は、福島県猪苗代（いなわしろ）町にある猪苗代湖の湖畔で活動を行っている組織です。

活動地域では、これまで鳥獣被害が大きかったため、平成26年度の多面的機能支払への切り替えにあわせ、鳥獣害防止に取り組むことにしました。

クマ、シカ、イノシシなどに対して、防獣ネットなどの対策は行っていましたが、多くの経費をかけられないことから、侵入経路になるため池付近の水路や農道、防風保安林の草刈りを行い、見通しを良くすることで、侵入の防止に取り組みました。

また、被害軽減のため、動物の習性などの勉強会を行い、地域での申し合わせ事項を決めたほか、電気柵を試験的に設置し、その効果を確認しています。

これらの取組や有害鳥獣の駆除などにより、平成27年は獣害がなかったことから、今後も継続してこれらの活動を行い、効果を上げるために頑張っていきます。

【蟹沢・長浜環境保全協議会 庶務 渡部権一】

☆小束野（こそくの）農地・水協議会（兵庫県）☆

「ムラ活女子、奮闘す！」

今回は兵庫県神戸市で活動する小束野農地・水協議会を紹介します。

この組織は、平成24年度から活動を開始し、小束野土地改良区等と一体となって、集落の60.5haの農地・農道・水路と7箇所のため池を守る活動を実施しています。

書記の松井尚子さんは、集落の皆さんに活動を理解して頂くため、土地改良区の広報誌を積極的に活用して、写真やイラストをふんだんに使って、活動組織で行ったクリーン作戦や長寿命化の工事状況等の活動を紹介しています。

また、生態系保全の一環のため池の堰堤に自生するユウスゲ（ユリ科）を守る活動を行って、KOBエ環境大学とのコラボで観察会も開催しました。

また、なかなか女性の意見が通りにくいムラ（農村）の仕組みの中で、多面的機能支払の活動に参加し、女性ならではの意見をしっかり言うことで、少しずつ理解を得て、堰堤の法長（のりなが）が2m程ある畦畔に安全設備を設置することもできました。

さらに、県で開催しているフォーラム等には、必ず、構成員の方に夫婦での参加を呼びかけることで、女性参加の輪を広げる努力をしています。

多面的機能支払の活動を通して、生き活きとしたムラ（農村）作りに貢献する女性、「ムラ活女子」の奮闘が、ムラを元気付け、コミュニケーションを活発にするきっかけになっています。

【近畿農政局農地整備課 黒田尚治】

■ 2. 農研機構からの技術紹介 ■ -----

「二重ネット工法を用いた畦畔法面におけるシバ（*Zoysia japonica*）の植栽技術」

斜度30°から45°の急傾斜の法面においても、維持管理しやすい芝生畦畔を容易に造成できる技術、「シバ二重ネット工法」を紹介します。作業能率は従来の植栽方法に比べて、極めて高く、5名程度の作業員でシバを植栽できます。

予め、生えている草（前植生）を処理したところに床土（とこつち）を入れ、木綿のネットにシバ苗を挟んだロールを法面で展開し、上から目土をかけて植栽は完了です。西日本では通常の雑草畦畔では年4～5回の草刈りが必要ですが、芝生畦畔では夏期の草刈り削減をはじめ、年3回程度の草刈りになり、各回の草刈り作業も少なくなります。雨水灌水（かんすい）のため、施工時期は6月の梅雨期となります。今年の秋から前植生の処理をはじめると、来年6月

には、シバ二重ネット工法によるシバの植栽が可能となります。なお、芝生畦畔の完成までは2年から3年を要します。シバ二重ネット工法で芝生畦畔への植生転換が進むと、畦畔管理費が削減されると共に、農村に芝生による美しい景観が成立します。

農林水産省「最新農業技術・品種2016」

→ http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2016.html

導入時のご相談先、より詳しいマニュアル

→ http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/warc/059322.html

【農研機構西日本農業研究センター 水田作研究領域 伏見】

■ 3. 農村振興局 Facebook 開設のお知らせ -----

「農村振興局公式 Facebook を開設しました！」

農林水産省農村振興局では、平成28年7月22日（金）、農林水産省公式 SNS として、農村振興局 Facebook を開設しました。今後、農村振興局関連の施策紹介に加え、農村振興に向けた全国各地の取組事例や各地域のイベント情報等、様々な情報を幅広く発信しています。

8月5日（金）には、多面的機能支払交付金に取り組んでいる、愛知県安城市の榎前（えのきまえ）環境保全会の活動を紹介しました。写真を交えながら様々な活動を紹介していますので、Facebook を利用されている方は、是非ご覧ください。

農村振興局 Facebook ページ

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/160721.html>

【農林水産省農地資源課 鈴木】

■ 4. JARUS よりイベント開催のお知らせ -----

一般社団法人 地域環境資源センター（JARUS）から、イベント開催のお知らせです。

「平成28年度 田園自然再生活動の集い」

田園の自然は、「農」との関わりの中で育まれ、守られてきました。

地域の人々が一体となって取り組んでいる「田園自然再生活動」によって育まれてきた自然、文化、そして地域社会がより良いものになるよう、本イベントで考えます。

今回は ～田園自然再生活動 それは自然と人の営みとの関わり～ をテー

マに、人が関わる再生活動を改めて見つめ直し、相互に交流を深め、活動の継続、充実や拡大を図ることを目指します。

日 時：平成28年12月5日（月）13：00～

会 場：東京ウィメンズプラザホール

（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

参加費：無料（17：00～の交流会費は別途）

定 員：120名（先着順）

申込み：詳細が決定次第、募集開始（9月上旬予定）

お問い合わせ：（TEL）03-5425-2461

（FAX）03-3432-0743

イベント詳細

→<http://www.acres.or.jp/Acres/denen/H28/tsudoi.htm>

JARUSのHP

→<http://www.jarus.or.jp/>

【（一般社団法人）地域環境資源センター 農村環境部（担当：藤田）】

■ 編集後記 ■

オリンピックで日本選手団がめざましい活躍をみせています。テニスの久方ぶりのメダル獲得や、体操男子の2大会連続団体優勝など、本当におめでたい出来事が盛りだくさんですね。私は、夜更かしして、テレビにかじりつきながらオリンピック観戦ができなくなったことで、社会人になったな～なんて感じています。

まだまだ夏真っ盛りで日差しが強い日が続きますが、くれぐれも熱中症にお気をつけください。

◇メールマガジンの新規登録は次のサイトからお願いします◇

メールマガジンの新規登録・配信変更等はこちらから

→<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

※既に本省及び農政局等で発行しているメールマガジンにご登録されている方は、パスワードの発行が必要です。

メールマガジンに関するご意見・ご感想はこちらから

→tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：秋山）

TEL : 0 3 - 3 5 0 2 - 8 1 1 1 (内 線 5 4 9 3)
